

らいぶらいい



10/27~11/9 読書週間

「私のペースでしおりは進む」

終戦の2年後の1947(昭和22)年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

それから76年が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらうきっかけとなることを願っています。



図書館では常時、本の展示を行っています。季節や行事にちなんだものや、今読んでほしい物など、テーマを変えて色々と展示しています。

面白い本がたくさんありますよ～

また保健室にも「ほっとコーナー」に本を置いています。9・10月のテーマは「友だち」です。ちょっとホッとできたり、アドバイスになったりする本を置いていますので、手に取って読んでみてください。



倉吉北高図書館
2023.10.18

詩人紹介



谷川俊太郎

1931年 東京都に生まれる。
高校時代から友人の影響で詩を書き始める。
卒業後、父の知人である三好達治の紹介により、雑誌「文学界」に詩を発表。

1962年 詩集「二十億光年の孤独」刊行

1963年 詩誌「権」に参加

詩集「六十二のソネット」刊行

「第34回読売文学賞」「現代詩花椿賞」

「萩原朔太郎賞」「小学館文学賞」「第十三回
詩歌文学賞」「鮎川信夫賞」など数々受賞。

また詩のみならず、戯曲、ラジオドラマの脚本、映画制作、絵本や童話の創作、絵本や漫画の翻訳、朗読、エッセイなど多岐にわたって活躍中 「日本語を味わう名詩入門 谷川俊太郎」

萩原昌好編 あすなる書房 より

図書館にある本

「こころ」「完全版ピーナッツ全集」
「詩人の声をきいた木」「みんなやわらかい」
「日本語を味わう名詩入門 谷川俊太郎」
「日本文学全集 近現代詩歌」

新着図書案内



分類	本の題名	著者など
哲学	このゲームにはゴールがない ひとの心の哲学	古田哲也
人生訓	スラムダンクの言葉	齋藤崇
	激変する世界で君だけの未来をつくる4つのルール	尾原和啓
	いつも心に猫ちゃんを	J am
仏教	怒らないこと	アルホ ムル・スマサラ
歴史	「世界史と日本史」同時授業	村上秀太郎&伊藤賀一
社会	ぼくはウーバーで捻挫し、山でシカと闘い、水俣で泣いた	斎藤幸平
	「くうき」が僕らを呑みこむ前に 脱サイレント・マジョリティー	山田健太
お金	Oh!金の学校 100歳2億円にふりまわされない!	あんびるえつこ
沖縄	知っていますか? 「近い昔」の沖縄33話	大城将保
科学	銀河の片隅で科学夜話	全卓樹
元素	元素に名前をつけるなら	江頭和宏
認知症	ボケ日和 わが家に認知症がやってきた!	長谷川嘉哉
芸能	星屑物語	ほしのディスコ
文学	密室ミステリガイド	飯坂勇三
	その気持ち、なんて言う?	NHK
	(萌えすぎて)絶対忘れない!妄想古文	三宅香帆
小説	黒猫を飼い始めた	講談社編
	この夏の星を見る	辻村深月
	すべての恋が終わるとしても 140字の恋の話	冬野夜空
	すべての恋が終わるとしても 140字のさよならの話	冬野夜空
英文学	ぼく モグラ キツネ 馬	チャーリー・マッケジー
	ぼくがスカートをはく日	エイミ・ボロンスキー
エッセイ	私だけ年を取ってるみたいだ ヤングケアラーの更生日記	水谷緑
大活字本	夢十夜	夏目漱石



「高校生にすすめたい本 2023」
 今年も県内高校の先生や司書が、高校生のみなさんにおススメしたい本を紹介します!!
 リストはもうしばらくお待ちください!!
 本はすでに図書館に展示していますので、ぜひご覧ください。

「気になる本の木」
 読書週間には、本の木が登場!
 図書委員がおすすめの本をリングに書いてみなさんに紹介します!
 朝読書や次に読む本を選ぶときの参考にしてくださいね!

学級文庫について
 図書委員の活動として学級文庫を設置しています。月に1度中身を入れ替えています。学級文庫の本は教室内で自由に読んでもらってかまいませんが、個人の机やロッカーに入れられないことを守ってください。また教室から持ち出すこともしないでください。

